

インターネット接続系仮想化機器等賃借業務 仕様書

令和7年5月

1. 業務概要

1.1. 業務名

インターネット接続系仮想化機器賃借業務

1.2. 背景と目的

現在多くの職員が主に利用するLGWAN接続系の端末とインターネット接続系の端末が物理的に分かれており、外部事業者とのメールのやりとりやインターネットによる情報収集時にLGWAN接続系とのデータ授受に多大な手間がかかっている。また、インターネット接続系の端末は正職員分しか割り当てられず、会計年度任用職員は一時的に借りるなどして業務を行っている。以上の問題を解消するため、業務効率、利便性の向上を目的とし、LGWAN接続系端末からセキュリティを担保したうえでインターネット業務が実施できる環境を当村が保有の仮想化基盤環境に整備するものとする。尚、整備に際しては、総務省が掲げる『自治体情報システム強靱性向上モデル』に準拠するものとし、画面転送・環境分離方式等によるインターネット仮想環境の導入、添付ファイルの剥離・HTTPリンクの削除等を行うメール無害化環境の導入、LGWAN系・インターネット接続系の通信を制御する環境の導入を行う。

また、現在物理サーバーで稼働中のLGWANサーバー（メールサーバー、DNS等）は稼働開始から9年が経過し、更新が必要な状況となっている。インターネット接続系の仮想化環境構築にはLGWAN側ネットワークも深く関係するため、当該環境構築に際し、LGWANサーバーも新たに仮想化基盤上に構築し、LGWAN接続系・インターネット接続系のネットワーク保守も併せて実施していくことで、業務の効率化とシステム可用性向上を図る。

1.3. 納入期限

令和7年10月31日（金）

1.4. 見積条件

次の合計価格を、後述の賃貸借期間で賃貸借契約を行う月額賃借料を見積もること。

- (1) 仕様（後述）に基づき導入する機器・ソフトウェアの代金、利用料、保守サポート料
 - (2) 仕様（後述）に基づき実施する設計構築・搬入・設置・調整の作業費
 - (3) 庁内ネットワーク（LGWAN接続系、インターネット接続系）の保守管理料
- 加えて、賃貸借基幹終了後について、次の合計価格の月額賃借料を見積もること。
- (4) 導入済の機器・ソフトウェアの代金、利用料、保守サポート料
 - (5) 庁内ネットワーク（LGWAN接続系、インターネット接続系）の保守管理料

1.5. 契約形態と期間

賃貸借契約（地方自治法に基づく長期継続契約）とする。

賃貸料は賃貸借期間の開始月からとし、総額を六十カ月で均等に分割した額を貸付者へ支払う。貸付者は、毎月未終了日以後の適法な請求書をもって賃借料を請求する。

1.6. その他

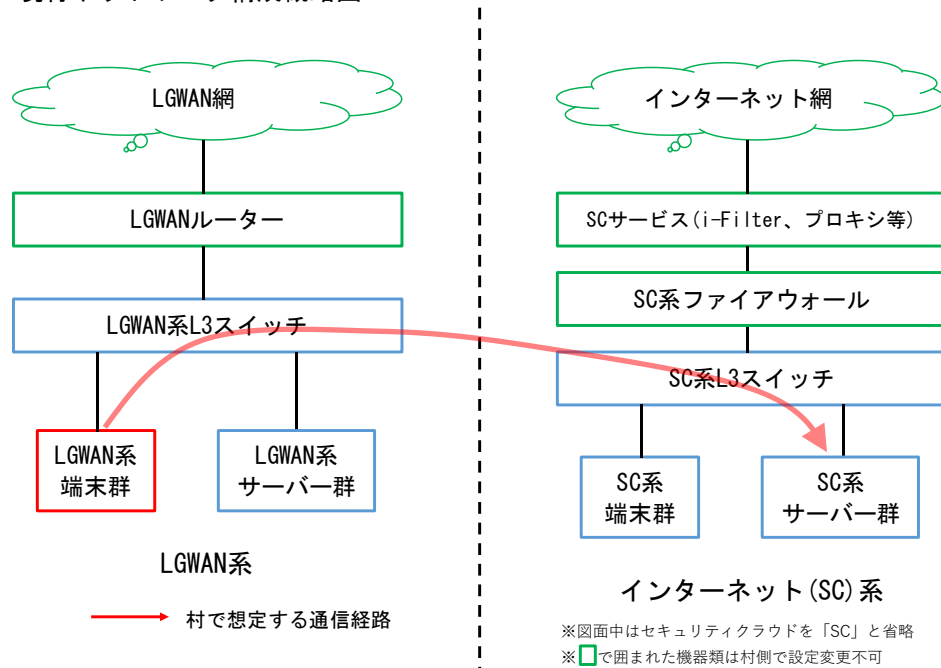
- ① 入札書には、月額賃借料を税抜きで記載すること。
- ② コンソーシアムやジョイントベンチャーによる参加も可とする。
- ③ 本仕様書に規定されている事項または解釈に疑義のある事項については、村担当者の指示または協議の上承認を受けること。
- ④ 本仕様書に明示が無いが、仕様に基づく業務の履行にあたり当然に必要な物品、ソフトウェア、作業については、調達の範囲に含むものとする。
- ⑤ 賃貸借期間終了後は導入された機器、ソフトウェア等は、継続して使用料等が発生するものを除き、無償譲渡すること。

2. 現状の環境概要

2.1. 現状の構成

LGWAN 接続系140 台、インターネット接続系80台 全て物理端末ネットワークに関しては次の図の通りである。

現行ネットワーク構成概略図



2.2. インターネット接続系の注意点

インターネット接続系は県のセキュリティクラウドを経由して接続している。そのため、プロキシサーバーや外部DNSサーバー、ファイアウォール等は村の管理下ではない。それらの設定変更等が必要である場合は事前に秋田県セキュリティクラウドの運用を行っているSBテクノロジー株式会社への確認事項を村へ提出して確認を行い、費用が発生する場合は今調達の見積に含むこと。

2.3. 利用中のシステム及びサービス等

○LGWAN 接続系

- ・ファイルサーバー (Nutanix Files)
- ・LGWAN 接続系⇄インターネット接続系 ファイル無害化転送 (熊本情報流通センター製 ファイル無害化ASP)
- ・セキュリティソフト (SOPHOS InterceptX Advanced)
 - ※ プロキシサーバーは存在しない
 - ※ 現時点でActive Directory管理はしていない

○インターネット接続系

- ・ファイルサーバー (Nutanix Files)
- ・Active Directory
- ・LGWAN 接続系⇄インターネット接続系 ファイル無害化転送 (熊本情報流通センター製 ファイル無害化ASP)
- ・セキュリティソフト (SOPHOS CentralInterceptX)
- ・i-filter (秋田県セキュリティクラウド)

3. 本調達で求める分離環境等

3. 1. サーバー環境構築

3. 1. 1. 共通

3. 1. 1. サーバー環境構築に記す各サーバーは、原則として村の仮想基盤上（Nutanix ※1）に構築すること。ただし、運用中の他のサーバーに影響が出ないよう細心の注意を払うこと。利用可能なリソースは以下の通りである。

※1 使用可能なリソース

CPU：12core メモリ：128GB ストレージ：14TiB（SSD） 程度
CAL：ユーザーライセンスで 2022 を250所有

尚、導入するサーバーにOSライセンスが必要な場合は、受注者の責において用意すること

3. 1. 2. インターネット仮想環境

LGWAN 接続端末からインターネット環境へのリモートアクセス環境を構築すること。セキュアブラウザ方式を想定しているが、セキュアデスクトップ等別の方式でも差し支えない。求める要件については別紙「機能要件一覧表」に定める。

◎セキュアブラウザ（ブラウザ分離ツール）：LGWAN 端末にインストールし、本ソフトを起動することで、専用のブラウザが起動し、インターネット系に安全にアクセスできるツール。

3. 1. 3. メール環境

インターネット接続系ネットワークで受信したインターネットメールについて、LGWAN 側に整備するメールサーバを介し、LGWAN接続端末で閲覧できる環境を構築すること。尚、LGWAN接続系に配送する際には自動的に無害化処理を実施すること。

尚、無害化処理に求める要件については別紙「機能要件一覧表」に定める。

また、現在当村ではインターネット向けドメイン（vill.ogata.akita.jp）とLGWAN向けドメイン（vill.ogata.lg.jp）の二つのドメインを保有しているが、本整備に併せて、メールドメインをLGWAN向けドメイン（vill.ogata.lg.jp）に統一するものとする。しかしながら、既存のインターネット向けドメイン（vill.ogata.akita.jp）は既に広く周知されているため、利用者からは本ドメインでの送信も想定される。その為、統一に際しては、既存のインターネット向けドメインをLGWAN向けドメインに変換する環境を整備するものとする。併せて、LGWAN接続端末からはインターネット・LGWAN向け双方のメール送信が想定される為、メールの宛先に併せて送信先を振り分ける環境も整備するものとする。

3. 1. 4. LGWANサーバー

LGWAN環境に接続する為のLGWANサーバーを構築すること。LGWANサーバーの主たる機能として、DNS、メール、NTPが挙げられるが、構築に際しては、総合行政ネットワーク接続仕様に則った対応を行うこととし、詳細な構築手順等は受注者の責において確認するものとする。

3. 2. ネットワーク環境構築

インターネット仮想環境、及びメール環境の整備に際しては、インターネット接続系ネットワーク・LGWAN接続系ネットワークでの通信が見込まれる。『自治体情報システム強靱性向上モデル』にも記されているように、当該ネットワーク間で通信を行う際には、セキュリティを担保するために通信を限定する必要がある（特定通信）。その為、本環境整備においても、本指針に準拠したネットワーク構築を行うものとする。

3. 3. クライアント側作業

3.1. で構築したリモートアクセス環境を庁内 LGWAN 接続系端末で利用できるようにするための配布方法を提案すること。接続元となる LGWAN 接続端末は140台あり、庁舎を含め村内施設 8 箇所に設置している。配布方法については、現状ではWORKGROUP構成であるため、職員がそれぞれ手順書を参照して作業を行うことを想定している。ただし、本調達において機能要件を満たすためにActive Directoryを構築する場合、それを用いて各端末の設定を行うことは差し支えない。

3. 4. 設置に関する仕様

- ・大潟村役場庁舎 2 階 サーバー室内既設のラックに設置すること。ラックマウント以外のものを設置する場合は棚を設置するなどし、固定を行うこと。

3. 5. 保守に関する仕様

- ・5年間のハードウェア保守（平日日中帯オンサイト翌日対応）を受けられること。
※仮想環境に構築されたサーバーの復旧に関しては村側が作業するが、リストア手順を示すこと（成果品参照）
- ・記憶メディアの故障により交換を行った際は、故障したメディアを処分せず引き渡すこと。
- ・5年間のソフトウェア保守を受けられること。

3. 5. 搬入に関する仕様・条件

- ・搬入に際し、正面入口ロビーや階段等を利用する際は、他の利用者に配慮すること。
- ・包装や梱包材等の廃材は全て落札業者の責において廃棄すること。

3. 6. 納品物

仕様に定める物品のほか、次の書類について納品すること。

- ① 作業計画書
- ② 納入物品一覧表
- ③ 機器・ソフトウェアパラメータシート
- ④ 写真（設置前、設置後）
- ⑤ 保守問い合わせ先一覧表
- ⑥ バックアップリストアが必要となった際の手順書

4. 本調達で求めるネットワーク保守業務への要求

4. 1. 保守業務体制について

- ① インターネット接続系仮想化機器等賃借業務にて構築業務を実施したSEが保守体制に参加し、作業にあたること。
- ② 保守体制表を提出すること。変更があった際はその都度、最新のものを納入すること。
- ③ 原則として、保守責任者は、当村から受注者へのサービスデスクとすること。
- ④ 保守責任者は、ネットワーク保守業務全体に対する実質的な権限を持つこと。サービスに関する当村からの要望、提案、相談等に対し、迅速な意思決定を行い、回答を提供できること。また、保守担当者へ業務指示を行うこと。
- ⑤ 複数の保守担当者により実務作業を行っても良いが、サービスデスクとしての連絡窓口は統一すること。
- ⑥ 作業者が当村で作業する際には、必ず名札を着用し、それと判別できるようにすること。また、身分証を携行し、当村から求められた場合はそれを提示すること。

4. 2. 問合せ対応
 - ① 当村からのネットワーク保守に関する問合せ対応を行うこと。
 - ② 連絡方法はメール連絡及び電話連絡とすること。
 - ③ 電話の受付時間、現地作業時間は「営業日・日中時間帯（9時～17時）」とすること。
メール連絡は24時間受付とし、時間外の場合、翌営業日の9時～17時にて対応すること。
 4. 3. ネットワーク機器障害対応作業
 - ① 障害の1次切り分け（問診）を行うこと。
 - ② 必要に応じ、障害の2次切り分け（現地対応）を行うこと。
 - ③ ネットワーク機器の障害対応については、代替機を調達し、代替機による交換対応作業を実施すること。なお、当初用意する代替機及び使用により補充する代替機は別途契約し機器を調達するものとし、本調達の費用には含めない。
 - ④ 既存ネットワーク機器の構成情報を確認し、代替機へ交換後も同動作となるよう構成情報を作成し、事前に代替機へ投入すること。現機器と代替機との機能差異については、予め当村の了承を得ること。
 - ⑤ 保守対象は別紙2「ネットワーク機器のハードウェア製品、数量及び設置場所の一覧」において保守対象明記されている機器とすること。
 - ⑥ 本件業務に係る作業記録について、受付から対応完了までを記録し、インシデント対応記録簿として毎月提出すること。
 4. 4. ネットワーク配線調査
 - ① 既存ネットワークLAN接続状況調査を行うこと。
 - ・主要ネットワーク機器に接続するLANケーブルラベル等の目視確認による接続確認とする。ただし、天井裏配線及び配管内のケーブルの配線ルートの確認は含めない。
 - ・機器間のLANケーブルを特定するのが困難な場合は当村と協議の上対応すること。
 - ② 成果物として「ネットワーク物理接続図」を作成すること。
 - ・ネットワーク機器一覧（機器型式、用途、設置場所、数量）
 - ・ネットワーク概要図
 - ・ネットワーク物理ポート接続図
 4. 5. その他支援
 - ① 秋田県セキュリティクラウドに関連するメール・ホームページ等のネットワーク関連設定についての助言を行うこと。
 - ② LGWANルーターの更新、デジタル庁が主導するネットワーク構成変更等に関する助言、必要に応じて立会支援を行うこと。
5. 特記事項
5. 1. 特記事項
 - ・受注後にキックオフミーティングを開催し、本業務の実施体制、作業計画、スケジュールについて資料を提出、説明を行い、村の承認を受けること。
 - ・承認された作業計画に基づいた進捗管理を行い、定期的に村担当者へ報告を行うこと。
 - ・作業上確認が必要な事項や村担当者の対応が必要な事項等について、課題管理表を用いた管理を行うこと。
 - ・進捗報告や課題管理のため、必要に応じ打ち合わせを実施すること。打ち合わせを行った場合には、その内容を記録した議事録を提出し、村担当者の承認を得ること。
 - ・納入する機器、ソフトウェアは安定して動作する最新バージョンとすること。
 - ・接続に必要なケーブル類は、すべて今調達に含むこと。